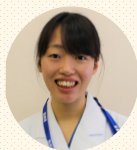


泌尿器科医を目指す君に届け！

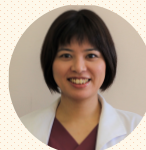
女性泌尿器科医の 勝手に！進路相談室

- 泌尿器科を専攻するか悩んでいる貴女に！
当講座のキャリアプランやよくある質問をまとめました。
興味が湧いたらお気軽にご連絡ください♪

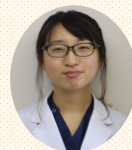
福島県立医科大学 医学部 泌尿器科学講座
医局女性医師メンバー



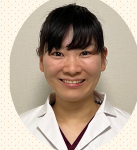
今井先生
後期研修医
大学院生



本田先生
泌尿器科専門医
1児の母

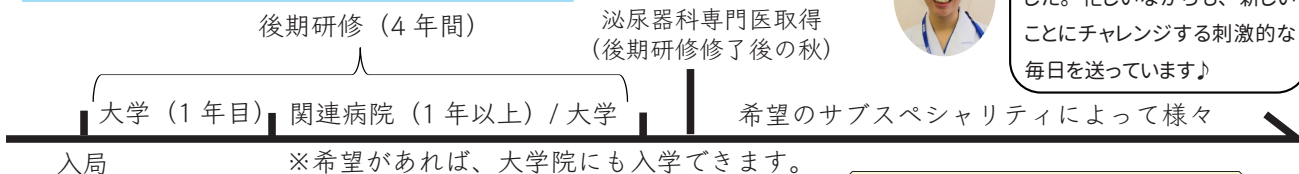


松岡先生
泌尿器科専門医
最近結婚しました。

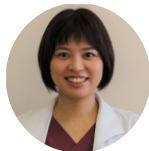


加山先生
泌尿器科専門医
結婚を機に福島民に

福医大 泌尿器科を専攻した場合の キャリアプラン（一例）



私は臨床業務と並行して、臨床研究や基礎研究も始めました。忙しいながらも、新しいことにチャレンジする刺激的な毎日を送っています♪



私は後期研修中に第一子を出産しました。当時は医局内に妊娠／出産を経験した医師がおらず、仕事と家庭のやりくりについては、医局の先輩医師にアドバイスを頂き、同期や同僚に支えられながら、手探りではありますが、家庭を維持しながら仕事を続けることができました。
出産4ヶ月後には泌尿器科専門医試験に合格しました。

☆取得可能なサブスペシャリティ☆

- ・腹腔鏡技術認定医
- ・泌尿器ロボット支援手術プロクター認定
- ・がん治療認定医
- ・排尿機能専門医
- ・小児泌尿器科学会認定医 等々

Q & A よくある質問

Q1. 男性の患者さんが多いと感じますが、女性だと困ることありますか？

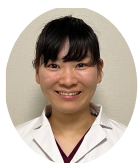
A. 泌尿器科も以前よりだいぶ女性医師が増えてきていますが、まだ珍しく思われることも少なくありません。しかし、実際診療していると患者さんに「次も先生にみて欲しい」と喜ばれることが多く、逆に女性医師であることで困った経験はとくにありません。（今井）

Q3. 手術や手技に興味があるのですが、産休や育休によって機会がなくなるのではないかと不安です。

A. 私が泌尿器科を専攻したのは、初期研修で泌尿器科をまわった際に、泌尿器科手術の美しさに魅了され、その醍醐味を知ったからです。泌尿器科は膀胱鏡を用いた処置や TURBT などの経尿道的手術から腎移植や膀胱全摘などのダイナミックな手術まで手技の幅が大きいことが特徴の診療科です。ライフステージによっては、一時的に長時間の手術や透視検査などの手技の機会が減ることはあり得ますが、望んだ機会がなくなってしまうことはないと思います。手術大好きな私ですが、今後まだまだ色々な手術を学んで、多くの患者さんの命を救う一流の医師を目指すつもりです。（本田）

Q2. 研究をするイメージが湧きません。必要があるのでしょうか？

A. 臨床研究や基礎研究は学生実習でほとんど触れないため倦厭されがちですが、やってみるとその大切さや面白さを実感します。向き不向きはありますし、強制はもちろんしませんが、今後の長い医師人生を歩む上で、一度は経験してみるのが better と思います。ぜひ一緒に頑張ってみませんか？（松岡）



「好きこそものの上手なれ」泌尿器科に興味を持ったらぜひ飛び込むべきです。確かに、日々外来と手術に追われる忙しい科であることは事実ですが、今は女性泌尿器科医が珍しくない時代に突入しており、身近にいる女性医局員に相談することや男性医師の協力を得ることが以前よりも容易になっています。特に福島県立医科大学泌尿器科学講座は、自分のライフステージに合わせた働き方ができるよう、医局員全員が知恵を出し合って協力してくれる医局だと実感しています。

☆ 実習・見学随時受付中!! ☆

福島県立医科大学医学部
泌尿器科学講座
www.urology.fmu.ac.jp
urol@fmu.ac.jp

